

明治安田生命 夏に関するアンケート調査を実施！

**「節電」の夏！ 冷房は過去最高の「27.5℃」へ！
震災で家族の「絆」強まる？！ 「帰省」する人は4割台に増加！**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、お盆の帰省シーズンを前に、夏に関するアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

○「節電」の夏（詳細は4～7頁参照）

■「今年は〇〇の夏」のトップは「節電」！

■冷房の設定温度は過去最高の「27.5℃」！「28℃」設定が最多の40.7%！

- ・今年の夏のキーワードは「節電」。「節電」で家計を「節約」、暑さを「我慢」！「打ち水」「すだれ」「風鈴」、電力に頼らない「古き良き時代」の生活が復活！
- ・冷房の平均設定温度は2007年の調査開始以来、最高の「27.5℃」！「28℃」は40.7%と最も多く、「26℃」以下は大きく減少
- ・暑さ・節電対策グッズを購入した人は約7割！クールビズ商品を購入した人の平均使用金額は「27,006円」

○夏休みの日数と過ごし方（詳細は8～10頁参照）

■震災で家族の「絆」強まる？！「帰省」する人は過去最高の40.2%！理由は「親・兄弟に会いたいから」

- ・夏休みの日数は、昨年より「1.4日」増加し「9.5日」に。2006年の調査開始以来、最長の夏休み！
- ・夏休みの過ごし方のトップは「自宅でゆっくり」であるものの、初めて6割を切る。一方、2位の「帰省」は40.2%と2006年の調査開始以来、最高値に！
- ・震災で家族の「絆」強まる？！帰省の理由のトップは「親・兄弟に会いたいから」（83.5%）！

○帰省の交通手段と費用（詳細は11～12頁参照）

■道路渋滞は緩和される？帰省の手段は「高速道路利用者」が減少し、「新幹線」等が増加。帰省費用は約1,000円増加し「27,384円」へ

- ・ETC割引終了の影響？帰省の手段は「高速道路利用者」が減少。東北新幹線や九州新幹線の全線開通もあいまって「新幹線」が最も増加

対象者の属性

1. 調査対象

20～59歳の男性・女性

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2011年7月8日(金)～7月11日(月)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,102人

6. 回答者の内訳

(単位:人)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	計
男性	135	129	143	146	553
女性	142	141	131	135	549
計	277	270	274	281	1,102

【目次】

<u>1. 「節電」の夏</u>	
<u>(1) 今年の夏のイメージ</u>	(4 ページ)
<u>(2) 節電の意識</u>	(5 ページ)
<u>(3) 冷房の設定温度</u>	(6 ページ)
<u>(4) 暑さ・節電対策の購入物</u>	(7 ページ)
<u>2. 夏休みの日数と過ごし方</u>	
<u>(1) 夏休みの日数</u>	(8 ページ)
<u>(2) 夏休みの過ごし方</u>	(9 ページ)
<u>(3) 国内旅行の行き先</u>	(10 ページ)
<u>3. 帰省の交通手段と費用</u>	
<u>(1) 帰省の交通手段</u>	(11 ページ)
<u>(2) 帰省の費用</u>	(12 ページ)

1. 「節電」の夏

(1) 今年の夏のイメージ

今年の夏のイメージ 「節電」の夏！
「打ち水」「すだれ」「風鈴」、電力に頼らない「古き良き時代」の生活が復活

- ・ 今年の夏のイメージを調べるため、「今年は〇〇の夏」(4文字以内)について聞きました。
- ・ トップは「節電」の夏(17.2%)となり、次いで「節約」の夏(10.5%)、「我慢」の夏(9.6%)となりました。
- ・ 東日本大震災の影響による電力不足で、今年の夏は多くの企業や国民が節電に努力しています。そのため、今年の夏のイメージを“節電”と回答した人が多かったのでしょうか。
- ・ また、「節電」で「家計を“節約”」「暑さを“我慢”」とイメージした人も多いのかもしれませんが。
- ・ 次に、今年の夏はどんな生活をするかを聞いたところ、電力に頼らず「打ち水」「すだれ」「風鈴」で涼しく過ごす等の回答が目立ちました。昔ながらの懐かしい生活をイメージさせ、「古き良き時代」を思い出しますね。

Q. 「今年は〇〇の夏」4文字以内で今年の夏をイメージする文字を入れてください

(自由回答)

順位	〇〇	の夏	回答者数 (人)	占率 (%)
1	節電	の夏	190	17.2
2	節約	の夏	116	10.5
3	我慢	の夏	106	9.6
4	猛暑	の夏	80	7.3
5	いつも	の夏	57	5.2
6	のんびり	の夏	41	3.7
7	省エネ(エコ)	の夏	28	2.5
8	勉強	の夏	19	1.7
9	休息	の夏	16	1.5
10	受験	の夏	14	1.3

※回答者数1102人

Q. 今年の夏は、節電生活や輪番休日等ありますが、どんな生活をしますか(一部抜粋)

回答内容	年代	性別
電気を極力使用せず、打ち水をしたり昔ながらの生活をしたい	50代	男性
日中暑い時間帯は、公共施設などを利用する	20代	女性
昔ながらの知恵を活かし、打ち水やよしずをとりいれる	40代	女性
できるだけ窓を開けて自然の空気を取りいれる。朝の早い時間に用事をすます	50代	男性
あまり電気を使わないように心掛ける。昔ながらの涼の取り方を考える	30代	女性
なるべく昼はクーラーを使わず、扇風機で過ごす。窓にすだれを置く	30代	男性
家にいると電気を使うので、積極的に外出し買い物をして経済を活性化させる	20代	男性
節電を心がけ、早く帰れる時は残業せず飲みに行き、明るい気持ちでいるようにする	20代	女性
熱中症にならない程度に扇風機などで涼み、風鈴の音等を楽しみながら過ごしたい	20代	女性
すだれ・グリーンカーテンで節電に努める	50代	女性

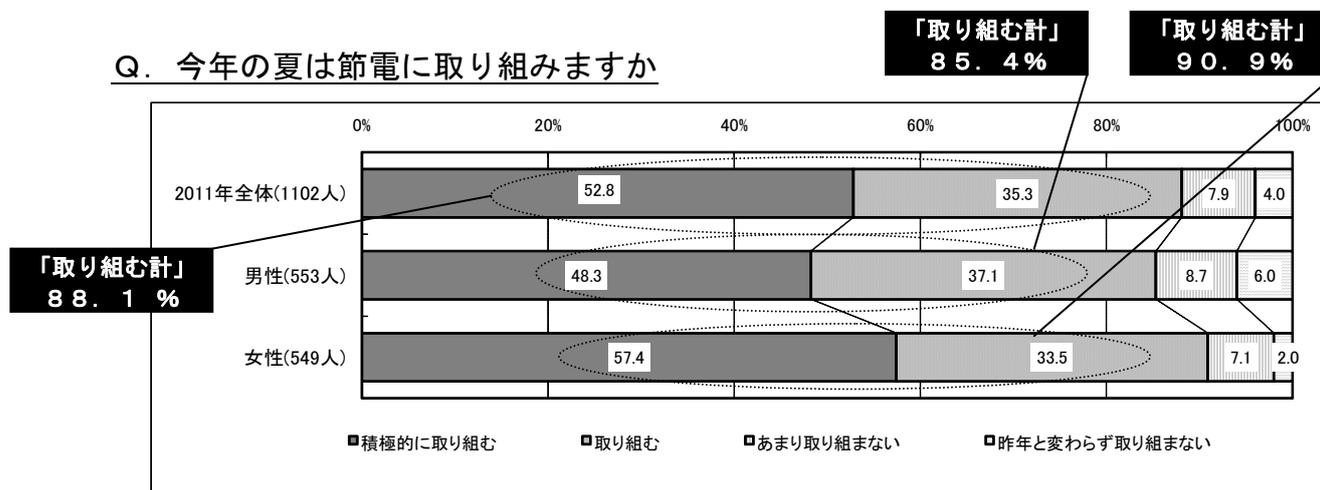
1. 「節電」の夏

(2) 節電の意識

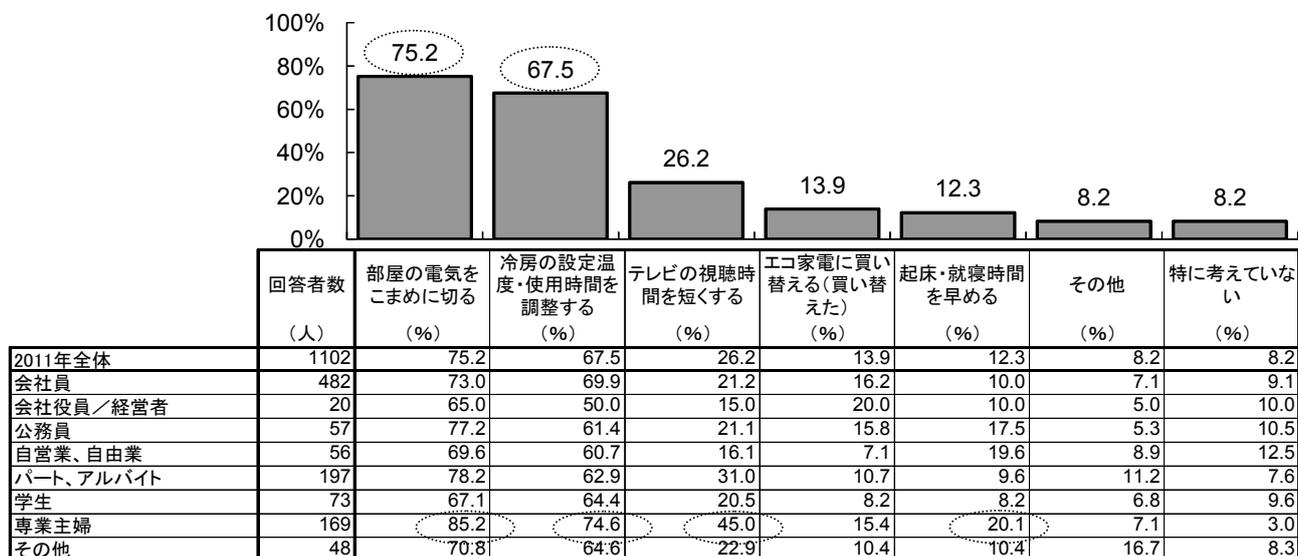
今年の夏の主役?! 節電に燃える「専業主婦」

- 前頁のとおり、今年は節電が大きく注目されています。そこで、節電に取り組むかどうかを聞いたところ、「節電に取り組む」と回答した人は88.1%（「積極的に取り組む」と「取り組む」の合計）と約9割の人が節電を意識していることがわかりました。
- 男女別でみたところ、「節電に取り組む」と回答した女性が9割以上であったのに対し、男性は8割台に留まり、節電に対する意識は特に女性が高いことがわかりました。
- 次に、家庭で取り組む節電方法を聞いたところ、トップは「部屋の電気をこまめに切る」（75.2%）、次いで「冷房の設定温度・使用時間を調整する」（67.5%）でした。
- また、節電方法を職業別にみると、なんと「その他」を除く5項目中4項目について専業主婦がトップで、今夏の節電を機に節約しようとする主婦の決意が表れた結果となりました。

Q. 今年の夏は節電に取り組みますか



Q. 今年の夏、節電のために家庭で取り組むことは何ですか（複数回答）



1. 「節電」の夏

(3) 冷房の設定温度

**今年の夏 冷房の設定温度は「27.5℃」と過去最高
「28℃」は昨年から倍増し、40.7%**

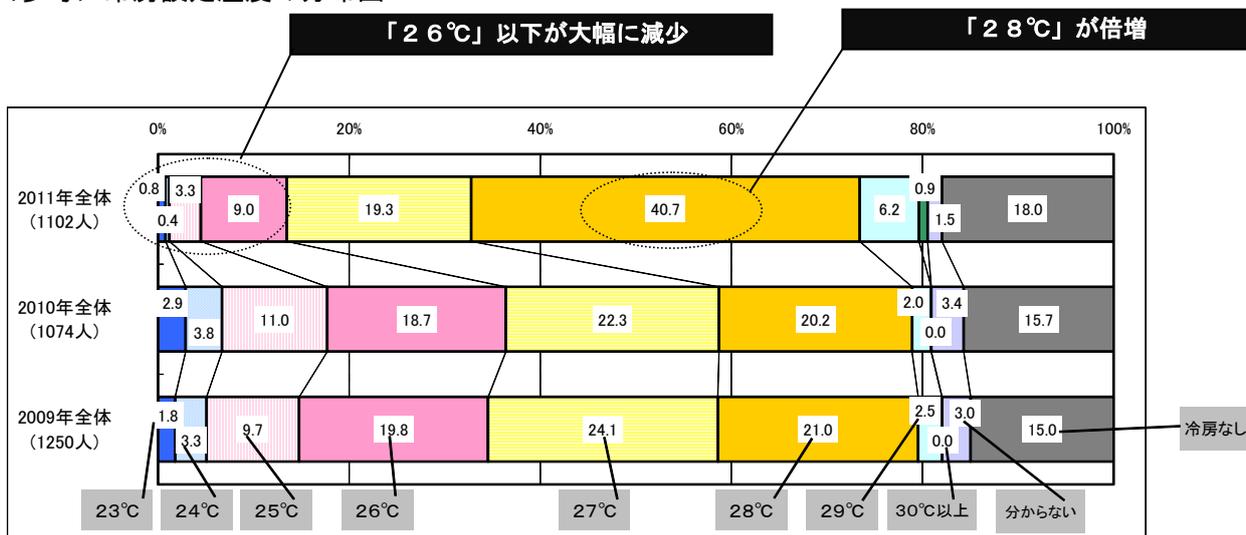
- 毎年恒例の冷房の設定温度について聞いてみました。
- 平均の設定温度については、2007年から調査していますが、毎年「26℃」台でした。しかし、今年は「27.5℃」と、過去最高になりました。
- 環境省が推奨している設定温度「28℃」と回答した人は40.7%と最も多く、昨年(20.2%)と比べ倍増しています。また、「26℃」以下(13.5%)と回答している人は昨年(36.4%)と比べ大きく減少していることから、今年の節電意識の高さがうかがえます。

Q. 冷房の設定温度は何度ですか

調査開始以来
最高値

	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
全体	27.5℃	26.5℃	26.6℃	26.8℃	26.7℃
男性計	27.3℃	26.4℃	26.4℃	26.6℃	26.5℃
女性計	27.6℃	26.6℃	26.8℃	26.9℃	26.8℃

<参考> 冷房設定温度の分布図



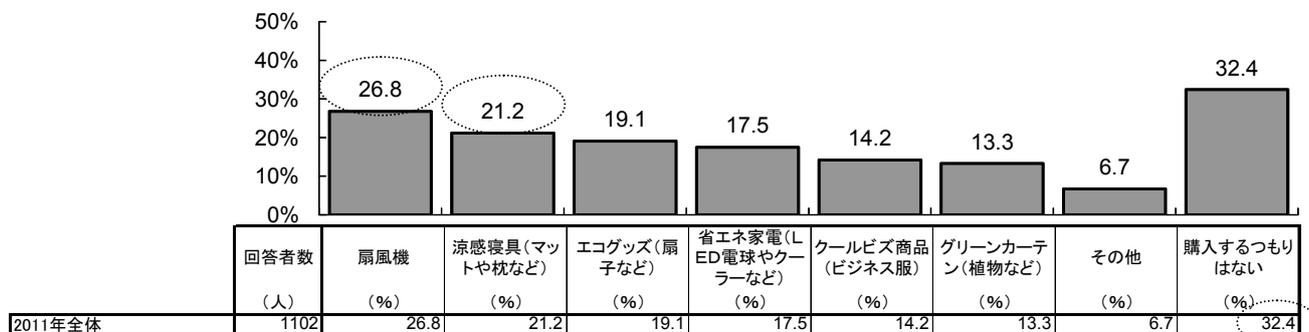
1. 「節電」の夏

(4) 暑さ・節電対策の購入物

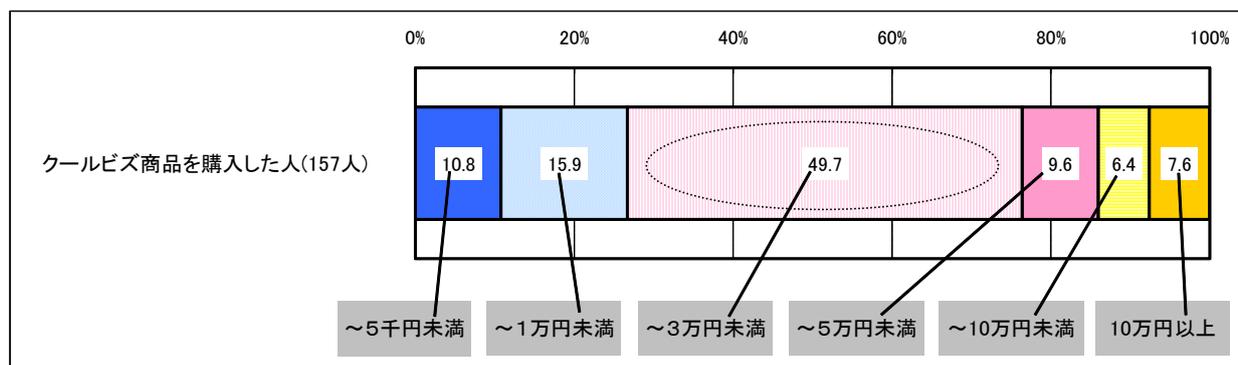
**暑さ・節電対策グッズを購入した人は約7割も
クールビズ商品に「27,006円」!**

- ・ 今年の夏、暑さ・節電対策で購入した（する予定の）グッズについて聞いてみました。
- ・ トップは「扇風機」（26.8%）で、2位は「涼感寝具（マットや枕など）」（21.2%）、3位は「エコグッズ（扇子など）」（19.1%）となり、4頁のとおり、「古き良き時代」の生活が感じられる結果となりました。約7割の人がなんらかのグッズを購入しています。
- ・ また、クールビズ商品を購入した人に使った（使う予定の）金額を聞いたところ、「1万円以上3万円未満」が約半数を占め、平均購入金額は「27,006円」でした。

Q. 暑さ・節電対策等で購入した（する予定の）ものを教えてください（複数回答）



Q. クールビズ商品購入のために使った（使う予定の）金額を教えてください



	回答者数 (人)	~5千円未満 (%)	~1万円未満 (%)	~3万円未満 (%)	~5万円未満 (%)	~10万円未満 (%)	10万円以上 (%)	平均購入金額 (円)
全体	157	10.8	15.9	49.7	9.6	6.4	7.6	27,006
会社員	85	10.6	11.8	52.9	10.6	7.1	7.1	26,282
会社役員/経営者	2	-	-	-	50.0	-	50.0	115,000
公務員	12	8.3	8.3	50.0	25.0	8.3	-	19,333
自営業、自由業	3	-	33.3	66.7	-	-	-	13,333
パート、アルバイト	24	20.8	20.8	41.7	4.2	4.2	8.3	24,458
学生	7	-	42.9	57.1	-	-	-	9,286
専業主婦	18	11.1	16.7	44.4	5.6	5.6	16.7	42,333
その他	6	-	33.3	50.0	-	16.7	-	15,000

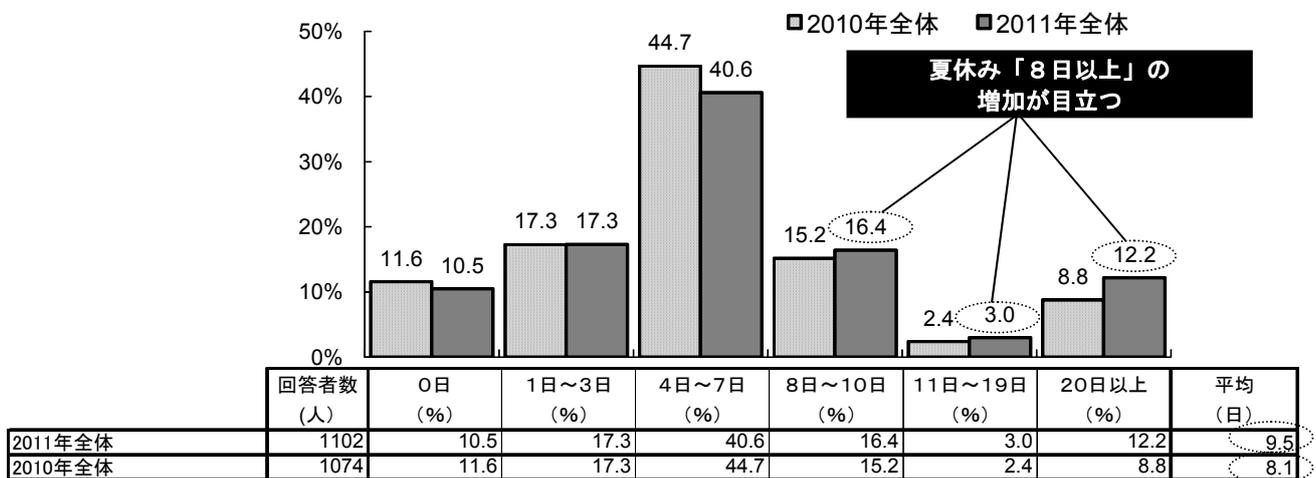
2. 夏休みの日数と過ごし方

(1) 夏休みの日数

**今年の夏休みは「9.5日」と過去最長！
昨年から「1.4日」増加**

- ・ お盆の帰省シーズンを前に、今年も夏休みの日数について聞いてみました。
- ・ 今年の夏休みの平均日数は、土日を含め「9.5日」となりました。昨年と比べ「1.4日」長くなっており、2006年の調査開始以来、最長の夏休みとなりました。
- ・ また、「8日以上」の休みを取得する人が多くなっていることがわかりました。

Q. あなたの夏休みの日数は何日ですか（土日も含め連続しての日数）



<参考> 夏休みの平均日数（2006年～2011年調査）

2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
9.5日	8.1日	7.7日	6.5日	7.9日	6.3日

**調査開始以来
最長**

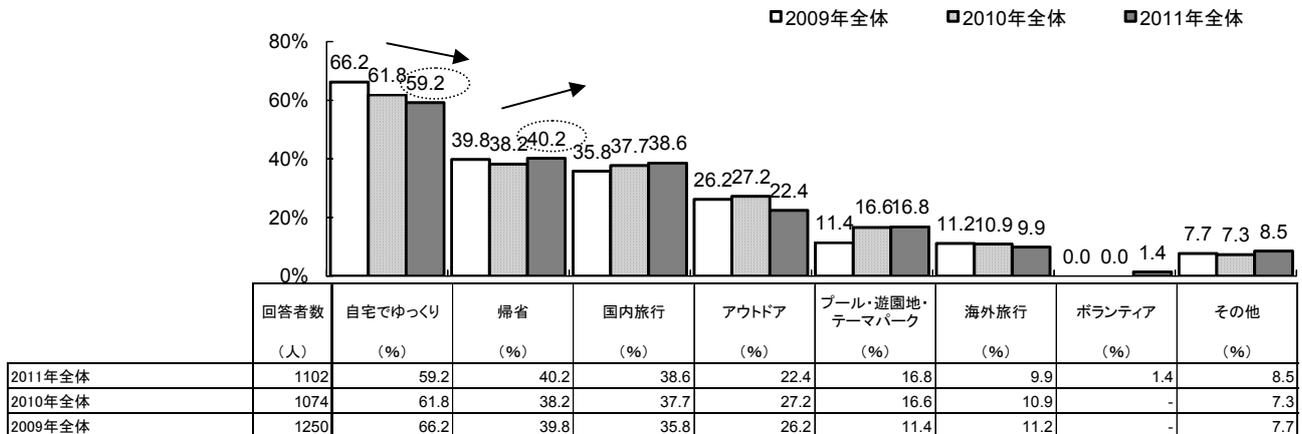
2. 夏休みの日数と過ごし方

(2) 夏休みの過ごし方

**「帰省」は4割以上と過去最高
震災で家族の「絆」強まる?! 帰省の理由「親・兄弟に会いたいから」が8割以上**

- ・ 次に、夏休みの過ごし方について聞いてみました。
- ・ トップは「自宅でゆっくり」(59.2%)でしたが、2年連続減少し、初めて6割を切りました。
- ・ 2位は「帰省」で40.2%と2006年の調査開始以来、最高となりました。
- ・ 2009年の夏、帰省する人が増えた理由のひとつとしてETC割引がありました。今年終了したにもかかわらず依然として「帰省」は高い水準となりました。
- ・ 「帰省」を選んだ人にその理由を聞いたところ、「親・兄弟に会いたいから」が83.5%と最も高く、次いで「墓参り」(52.6%)となりました。
- ・ 今年3月に東日本大震災が発生し、被災地はもとより、日本全国民が悲しみに包まれました。今回の震災が自分の「大切な人」について改めて考えるきっかけとなり、今回の夏休みを利用して「大切な人」に会うため、帰省したいと思ったのかもしれない。
- ・ また、3位は「国内旅行」(38.6%)が続きました。

Q. 今年の夏休みの過ごし方を教えてください(複数回答)

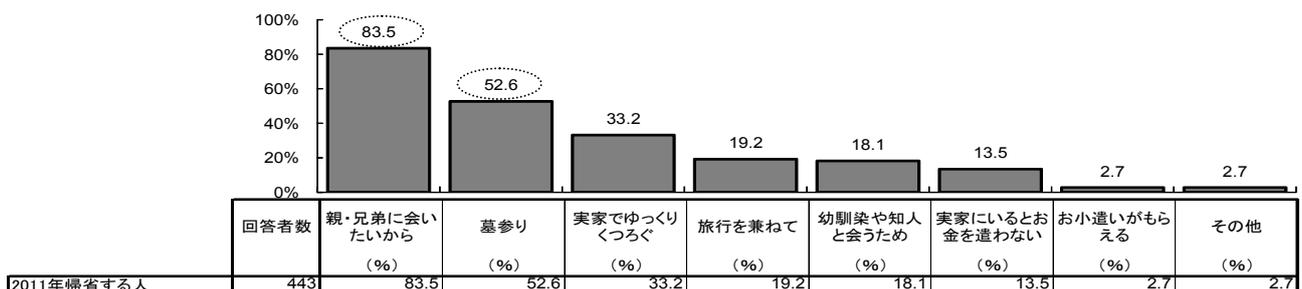


<参考> 夏休みの過ごし方で「帰省」を選択した人

2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
40.2%	38.2%	39.8%	27.1%	25.6%	24.1%

調査開始以来
最高値

Q. 帰省の目的・理由を教えてください(複数回答)



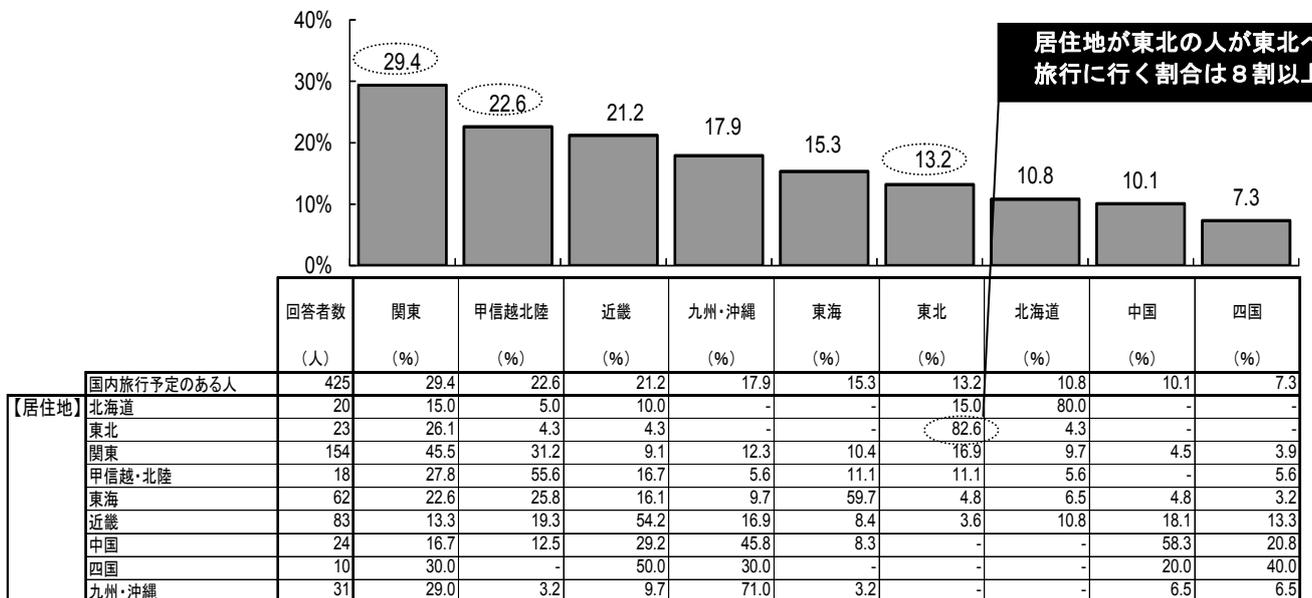
2. 夏休みの日数と過ごし方

(3) 国内旅行の行き先

旅行先が「東北」と回答した人 理由は「復興支援になるから」

- 前頁の夏休みの過ごし方で「国内旅行」と回答した人に対し、行き先を聞いたところ、全体では「関東」（29.4%）が最も高く、次いで「甲信越北陸」（22.6%）でした。
- また、「東北」と回答した人は13.2%で、理由を聞いたところ「旅行に行くことで被災地の支援につながるから」など、多くの人々が東北の復興支援を意識しているようです。
- 居住地が「東北」地域の人々の国内旅行の行き先をみたところ、8割以上の人々が「東北」となっており、地元復興に特別強い思い入れがあることがわかりました。

Q. 国内旅行はどの地域に行きますか



<参考> 東北に旅行に行く人の理由（一部抜粋）

「東北」を旅行先に選んだ理由	居住地	年代	性別
復興支援でできることを考えた結果、東北に行くのが一番良いと思った	千葉	50代	女性
東北に旅行に行くことで、消費につながり復興の支援になる	東京	30代	男性
東北に親戚がいるから。もちろん復興支援になるといいと思う	東京	30代	女性
祖父母が住んでいる東北の復興のために旅行に行きたい	埼玉	20代	女性
復興になるとともに、これを機会に家族で初めての場所で思い出づくりになるため	茨城	30代	女性
涼しく過ごせて復興支援にもなる。さらにいい景色を見て、ストレスも発散できる	大阪	30代	男性
以前から東北へゆったり行ってみたかったが、復興支援になるならなおさらうれしく思う	千葉	50代	女性
東北旅行が復興支援につながる	東京	40代	女性
東北に住んでいるからこそ、支援に行きたい	宮城	40代	男性
東北人だから近場でも復興の協力になるなら行く	宮城	50代	男性

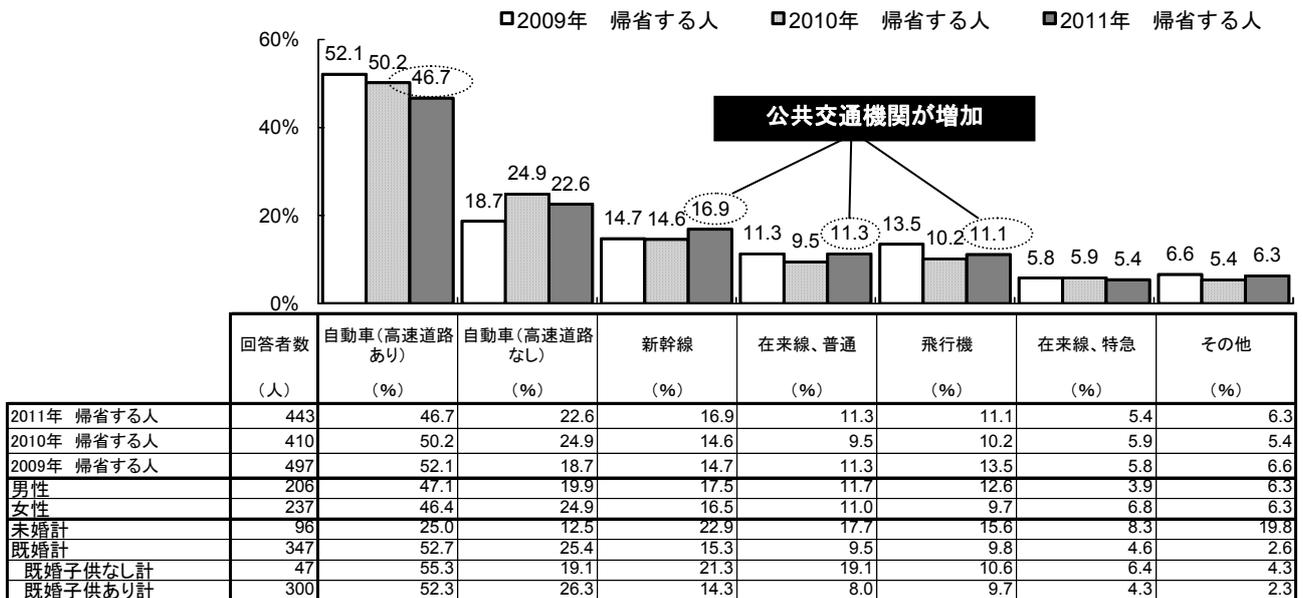
3. 帰省の交通手段と費用

(1) 帰省の交通手段

ETC割引終了の影響？ 帰省の手段は「高速道路利用者」が減少 今年は道路渋滞が緩和される？

- 夏休みの過ごし方で「帰省する」と回答した人に対し、帰省手段を聞いたところ、トップは「自動車（高速道路あり）」（46.7%）であるものの、昨年から3.5ポイント減少しました。
- これは、ETC割引開始前の水準（2008年度調査：48.2%）とほぼ同じであり、今年「休日特別割引」（上限料金1,000円）や「高速道路無料化社会実験」のETC割引が終了したため、「自動車（高速道路あり）」利用の減少につながったようです。
- 逆に、「新幹線」、「飛行機」、「在来線（普通）」といった公共交通手段が、それぞれ増加しています。
- 「新幹線」について、九州新幹線では今年3月「博多—鹿児島」間が開通、東北新幹線では昨年12月「八戸—新青森」間が開通し、それを利用して帰省する人が増えたのかもしれない。

Q. 帰省手段として、何を使いますか（複数回答）



3. 帰省の交通手段と費用

(2) 帰省の費用

帰省の交通費は「27,384円」と約1,000円の増加

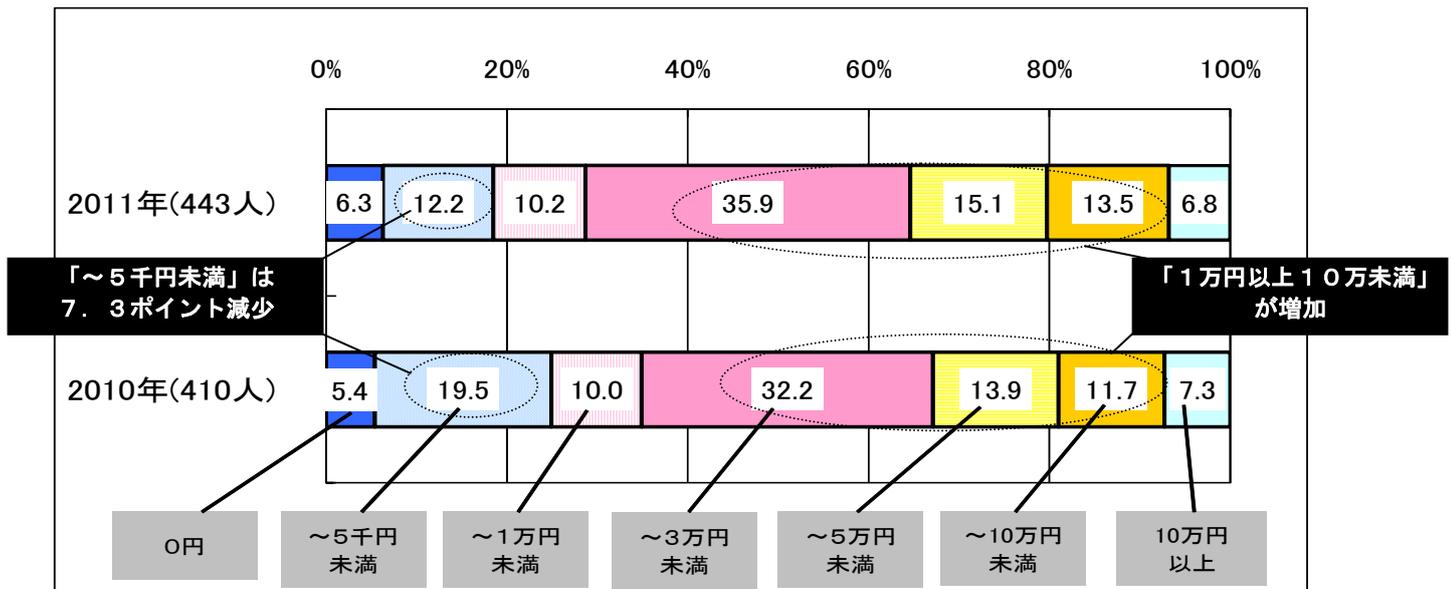
- 夏休みの過ごし方で「帰省する」と回答した人に、帰省の費用（交通費+おみやげ代）を聞いてみました。
- 帰省にかかる平均交通費は、昨年に比べ1,032円増加し、「27,384円」となりました。
- また、平均交通費が「～5千円未満」は12.2%と、昨年から7.3ポイント減少しており、一方「1万円以上10万円未満」が各区分とも増加しています。この変化は、11頁に記載しているETC割引の終了や新幹線の開通等が影響しているのでしょうか。
- 平均おみやげ代は、交通費があがった影響からか、昨年と同水準の「10,007円」でした。その結果、交通費とおみやげ代を合わせた平均帰省費用は、「37,391円」となり、昨年より968円上昇しています。

Q. 帰省の費用はいくらですか（交通費+おみやげ代）

	平均交通費 (円)		平均おみやげ代 (円)		平均帰省費用 (円)	
	2011年	2010年	2011年	2010年	2011年	2010年
全体	27,384	26,352	10,007	10,071	37,391	36,423
未婚計	20,979	22,931	8,531	8,483	29,510	31,414
既婚計	29,156	26,916	10,415	10,332	39,571	37,248
既婚子供なし計	26,894	21,119	9,915	9,119	36,809	30,238
既婚子供あり計	29,511	27,702	10,493	10,497	40,004	38,199

※帰省すると回答した人ベース

<参考> 帰省平均交通費の分布図



※帰省すると回答した人ベース